

1. 実況上の着目点

- ① バイカル湖の東の500hPa
4980m付近には-48℃以下の寒気を伴った寒冷渦があって東進。朝鮮半島付近の500hPa5340～5460mにトラフがあって東進。北海道の西とJPCZ上の山陰沖には低気圧があってそれぞれ東進。
- ② 日本付近は冬型の気圧配置となっており、北日本～西日本の日本海側では雪や雨が降っている。全国的に風が強く吹いて波が高く、しけている所がある。

2. 主要じょう乱の予想根拠と解説上の留意点

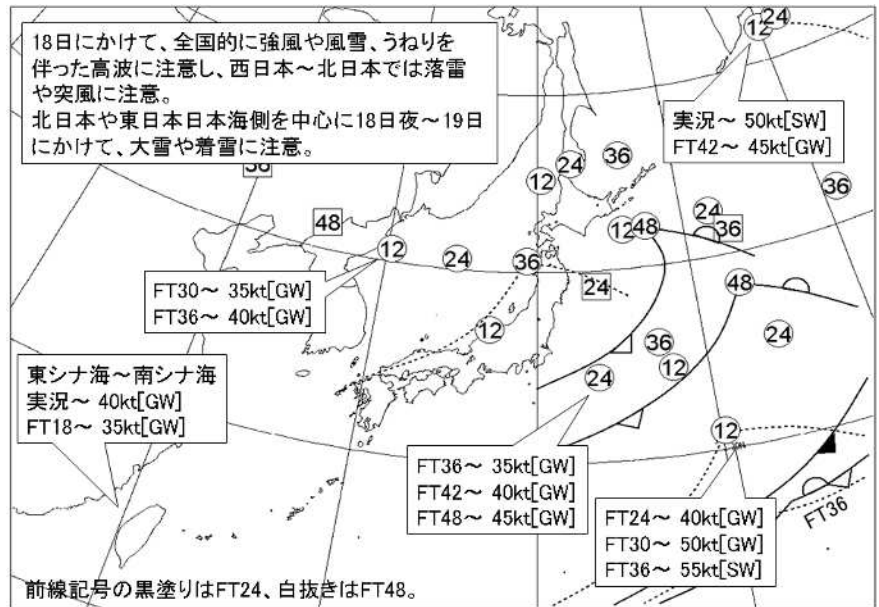
- ① 1項①のトラフは17日夜に北日本～東日本に進む。対応して1項①の山陰沖の低気圧は東進、17日夜に北陸地方に進んで不明瞭化。東日本や西日本日本海側では17日は、トラフに伴う上空寒気の影響で大気の状態が不安定となり、JPCZや低気圧周辺では風が収束して対流雲が発達する所がある。また、1項①の北海道の西の低気圧は東進、18日朝にかけて日本の東に進む。17日夜には、北海道の西で新たな低気圧が発生、18日夜にかけてオホーツク海に進む。北海道地方は18日にかけて、これらの低気圧や上空寒気の影響で大気の状態が不安定となる所がある。1項①の寒冷渦は東進、19日にかけてサハリン付近に進む。寒冷渦の周りを回る500hPa5040～5100mのトラフが18日夜に日本海に進み、19日朝にかけて北日本を通過していく。トラフに伴って日本付近は17日夜から500hPaは次第にゾーナルから南西流場となり、17日夜に日本海で低気圧が発生、18日夜には前線(850hPa-12～-9℃に対応)を伴って秋田沖に進み、19日朝にかけて日本の東に進んで寒冷前線が北日本～西日本を通過していく。北日本～西日本では18日は、低気圧や前線に向かって850hPa θ e285K以上の下層暖湿気が流入、トラフに伴う上空寒気の影響も加わって大気状態が不安定となる所がある。西日本～北日本では18日にかけて、落雷や突風に注意。低気圧や前線通過後の18日夜～19日にかけて、日本付近は冬型の気圧配置となり、850hPa-12℃以下の寒気が西日本まで流入、降雪が強まる所がある。北日本や東日本日本海側を中心に18日夜～19日にかけて、大雪や着雪に注意。
- ② 日本付近は17日は冬型の気圧配置、18日は2項①の秋田沖に進む低気圧の影響で、風が強く吹いてうねりを伴ってしける所があり、西日本～東日本日本海側では非常に強く吹く所がある。全国的に18日にかけて、強風や風雪、うねりを伴った高波に注意。

3. 数値予報資料解釈上の留意点 総観場はGSM基本、量予想や降水分布はMSMやLFMも参考。

4. 防災関連事項 [量的予報と根拠]

- ① 大雪ポテンシャル(18時からの24時間)：北陸30cm。
- ② 波浪(明日まで)：近畿・中国・沖縄5、北陸・九州北部・奄美4、東北・関東・伊豆諸島・九州南部3m。

5. 全般気象情報発表の有無 発表予定なし。



主要じょう乱解説図